

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.115

発行所: 日本消化器がん検診学会
 関東甲信越支部
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
 東京都がん検診センター
 消化器内科
 TEL/042-321-0711
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



目次

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部長 挨拶	2
第60回日本消化器がん検診学会総会	
会告	3
完全オンライン開催に変更のお知らせ	3
会長挨拶	4
第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
会告	5
会長挨拶	5
第59回日本消化器がん検診学会大会	
会告	6
会長挨拶	7
編集後記 山口和也	8

令和3年度 ご挨拶



日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部

支部長 入口陽介

謹啓

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、コロナ禍のなか、毎日、大変な思いをなさっておられることとお察し申し上げます。コロナ禍をなんとか乗り切って、新しい時代を迎えたいと願っております。

さて、関東甲信越支部では、コロナ感染予防の観点から2020年度は地方会をはじめ各研修委員会の活動をすべてストップいたしましたため、大変ご迷惑をおかけしているところでございます。しかしながら、おそらく皆様のご施設でも、今もコロナ感染患者様の診療や対応に追われる日々が続いていることと思います。やっとワクチン接種の開始が予定され一歩前進の兆しと感じております。

最近の学会や研究会の開催状況をみておりますと、Webを用いたハイブリッド開催よりも完全Web開催が多くなってきております。そこで、関東甲信越支部でも、Webによる地方会や各研修委員会の活動がスムーズに今後行えるよう、現在、ホームページのセキュリティを強化し、参加費のカード決済、参加証の発行など、ホームページの活用を検討しております。もう少しお待ちください。

我が国は、超高齢化、社会保障費の増大、生産年齢人口の減少などの重要課題があり、健康寿命、健康長寿は、益々、重要なテーマとなっております。昨年末、総務省と厚労省がパーソナルヘルスレコード計画を推進するために、マイナンバーから保険証番号に切り替えて、できるところから開始するように通達され、数年間のうちに法整備が検討されております。予防医療の社会的役割は、益々重要になっております。皆様のご活躍を祈念しております。

今年は、10月2～3日に第80回関東甲信越支部地方会（千葉市）、が、山口和也会長（ちば県民保健予防財団）のもとで開催予定でございます。また、6月4～6日に第60回日本消化器がん検診学会総会（東京）が小川真広会長（日本大学病院）、11月4～7日にJDDW2021KOBE第59回大会が濱島ちさと会長（帝京大学）のもと開催予定です。

ぜひ、皆様の多数のご参加、ご発表をよろしく願いたします。みんなで盛り上げて、コロナを吹き飛ばしましょう。

謹白

第60回 日本消化器がん検診学会総会のご案内

会 長：小川 真広
 (日本大学病院消化器内科)
 会 期：2021年6月4日(金)から6月6日(日)
 (6日は市民公開講座と医師研修会、大腸CT検査技師研修会のみ)
 会 場：完全オンライン開催に変更となりました。
 配信会場：ステーションコンファレンス東京

【お問い合わせ先・事務局】

第60回日本消化器がん検診学会総会運営事務局
 〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
 (株)勁草書房 コミュニケーション事業部内
 E-mail：jsgcs60@keiso-comm.com
 TEL：03-3814-7112 (営業時間 平日10:00-17:00)
 ホームページ： <https://www.jsgcs60.org>

第60回日本消化器がん検診学会総会 完全オンライン開催に変更のお知らせ

第60回日本消化器がん検診学会総会
 会 長 小 川 真 広
 日本消化器がん検診学会
 理事長 渋谷 大 助

謹啓

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本会は、現地会場およびオンラインシステムを併用したハイブリッド開催を予定して準備を進めて参りましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、やむを得ず完全オンライン開催へと開催形態を変更する事と致しました。

一般演題も含め、現在予定しているプログラムは、全てWEB会議システムを用いた「オンライン発表」と致します。

なお、医師研修会、大腸CT検査教育研修会、大腸CT検査実践トレーニングなどの研修会は、Web配信による受講とします。受講には別途、参加登録が必要となります。

関係各位におかれましては、急な変更となり大変ご迷惑をおかけ致しますが、詳細が決まり次第、順次ご案内して参ります。

このような状況ではございますが、皆様にとりまして有意義な学会となりますよう、事務局一同、鋭意準備を進めて参りますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

謹白

第60回 日本消化器がん検診学会総会 会長挨拶

“信用と信頼” ～ “新しい検診様式” を目指して～

日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野
日本大学病院 消化器内科 超音波検査室

小川 眞 広

日本のがん検診の歴史は、1960年（昭和35年）に東北大学の黒川利雄教授が中心となって、胃がん検診の X 線装置を載せた車を開発し、宮城県での巡回検診を開始したことが始まりと言われています。

本学会は、その2年後の1962年（昭和37年）に当教室の先輩である有賀槐三先生が世話人となって「胃集検研究会連絡会」が設立され、翌年の1963年（昭和38年）に「日本胃集団検診学会」と改称し学会として設立されたのが始まりです。

その後、1982年には大腸がん検診と超音波検査による肝・胆・膵検診の参加に対応して「日本消化器集団検診学会」へ、さらに2006年には個別検診の普及に対応するために「集団」を外して「日本消化器がん検診学会」と改称し、現在に至ります。

そして今回、設立60年の記念の年を迎えました。このような歴史ある学会の第60回記念大会の会長を任命され、身に余る光栄と感じるとともにその責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいです。

このように日本で生まれた検診をこれからも素晴らしいものとし、発展させていくためにはまだやることが山積していると感じております。そのような中、学会で異なる分野の人々とディスカッションを行い、その成果を社会にアピールすることが学会の使命と感じております。

そこで、今回の学会テーマを“信用と信頼”とさせていただきます。信用（credit）と信頼（trust）の意味は国語辞典を紐解いてみると、信用とは信じて任用すること、信頼とは信じて頼ること、とあります。

つまりこれまでの素晴らしい実績やevidenceのある手法があり、それらの業績に関して信用が得られている検診が、“信用のある検診”です。

これに対して、良い先生がいる、施設のシステムが良い、など、患者やそのご家族の方から精神面も含めて評価されるのが“信頼される検診”となります。

つまり、信用はないけれど信頼される検診施設はあり得るということになります。これから信用と信頼の双方を得られる検診を育むためにはどのような改革を行っていけばよいのか？自施設という枠組みを超え、行政の観点も含めてこれからの検診業界のあるべき姿を本学会で討論できればと考えております。

さらに2020年はCOVID-19の世界的な感染拡大により未曾有の事態が続いております。各施設においても“新しい検診様式”を目指し改革が行われた年にもなりました。

この経験を活かしどのような検診様式を目指すことが望まれるのか？も最新情報をまじえてのディスカッションができればと思います。

本総会が少しでも検診分野の発展に役に立つことができれば、学会の社会貢献という公共的役割の一端を担うことができると考えております。

会場を東京駅に隣接するアクセスの非常に良い場所に選定いたしましたので、一人でも多くの方に参加して頂けることを祈念しております。

本総会の開催に際しましては、来場者への万全の安全対策やWeb配信の活用など、十分な感染症対策を実施いたしますことを申し添えます。

2020年7月吉日

第80回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：山口 和也

(公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター消化器内科)

会 期：2021年10月2日(土)・3日(日)

2日は、第3回大腸CT検査教育研修会および

第3回大腸CT検査実践トレーニングコースのみ開催

会 場：3日；オークラ千葉ホテル（千葉市中央区中央港1-13-3）

2日；ちば県民保健予防財団（千葉市美浜区新港32-14）

参加費：3,000円

第3回大腸CT検査教育研修会 受講料 5,000円

第3回大腸CT検査実践トレーニングコース 受講料 5,000円

【お問い合わせ先・事務局】

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター 消化器内科

〒261-0002 千葉市美浜区新港32-14 TEL：043-246-8664

大会長 山口和也

E-mail：shougankenkantou80@gmail.com

事務局長 中川由紀

プログラム委員長 稲田麻里

ホームページ： <https://jsgcs-kanto-80th.wixsite.com/jsgcs-kanto-80th>

第80回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 会長挨拶

第80回地方会開催にあたって

公益財団法人ちば県民保健予防財団

総合健診センター 消化器内科

山口 和 也

この度、第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を、2021年10月3日(日)にオークラ千葉ホテル（千葉市中央区）にて開催させていただくことになりました。関東甲信越支部は1971年に、市川平三郎先生が中心になって設立されました。第1回の関東甲信越地方会は1971年2月5日に開催されました。胃集団検診から始まり、大腸がん検診、腹部超音波検査、内視鏡と対象検査が広がり今日に至ります。千葉県のがん検診受診率は決して良い数字ではありません。一部の方が毎回受診されていて、受診しない方は受診しない現状です。市民の皆様を受け入れていただく検診のありかたを今一度みなさんに考えていただき、今後の検診の進む道を提案したいと思います。教育講演、医師認定講習会、放射線研修委員会、超音波研修委員会を予定しています。多くの関係者に参加いただくため、会場開催に限定せず、Webを利用した参加（当日、後日オンデマンド）を可能にすることも検討をしています。新型コロナウイルスの感染状況がどうなるのか、近くならないと決定しづらい状況です。決定した際には、ホームページ等を通じてお知らせいたします。

第59回 日本消化器がん検診学会 大会のご案内

会 長：濱島 ちさと

(帝京大学医療技術学部看護学科保健医療政策分野)

会 期：2021年11月4日(木)から7日(日)

会 場：神戸コンベンションセンター

演題募集：2021年2月1日(月)正午から3月23日(火)正午



前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォード 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスタ[®] A240

硫酸バリウム散99.5%〔FSK〕

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影剤

バリエース 発泡顆粒

■ 胃内有用性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%〔FSK〕

(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤

バリトガン[®] HD

バリトガン[®] デラックス

■ 注腸用X線造影剤

エネマスタ[®] 注腸散

■ 緩下剤

ピコスルファートナトリウム錠2.5mg〔FSK〕

(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱い商品

■ 大腸-CT用検査食 **FG-two**☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

G.I.Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5263-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

伏見製薬株式会社
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所/TEL 022-295-5667 東京営業所/TEL 03-5328-7801
名古屋営業所/TEL 052-732-8555 大阪営業所/TEL 06-6160-2431
中四国営業所/TEL 0877-22-7284 福岡営業所/TEL 092-413-4107

第59回 日本消化器がん検診学会大会 会長挨拶

帝京大学医療技術学部看護学科

濱 島 ちさと

この度、JDDW2021、第59回日本消化器がん検診学会大会長を担当いたします、帝京大学の濱島ちさとです。JDDWにおいて本学会の会長を務めさせていただきますことをたいへん光栄に存じます。

本学会のテーマは、利益・不利益バランスに基づくがん検診の政策決定です。

保健医療分野では科学的根拠に基づく医療政策決定を行うことが期待されており、がん検診も例外ではありません。科学的根拠を明確にするための診療ガイドラインでは、利益ばかりでなく、様々な不利益についても検討し、利益と不利益のバランスを検討することが国際標準となっています。がん検診においても、利益・不利益バランスを検討し、真の利益を最大化できるがん検診を検討する必要があります。

主題シンポジウムでは、がん検診の利益である死亡率減少効果を始めとするエビデンスがいかに構築されてきたか、国際標準レベルで検証します。さらに、ガイドラインに基づき、がん検診のエビデンスを再検討します。また、ワークショップではがん検診の不利益の減少に向けてのアクションプランを議論します。

招待講演者としては、がん検診の政策決定に長年関与されてきた2人の研究者をお招きします。がん検診の理想型である組織型検診については、Public Health EnglandのScreening 担当 Director であるAnne Mackie教授からご講演頂きます。また、国立台湾大学公衆衛生院のTony Chen教授からは、公衆衛生の成功事例として、台湾のCOVID19対策をお話し頂きます。

がん検診の目的は単に多くの人々に検査を行うことではありません。公衆衛生施策として、市民の健康改善を目的とした予防対策です。その成果を正しく導くためには、エビデンスに基づくがん検診を選択し、適切な運用が求められます。

これまでに蓄積されてきた成果を政策に反映し、エビデンスの正しい理解とその応用を進めるためにも、多くの皆様にご参加いただき、活発な議論を期待しております。



編集後記

今号は第60回総会、第80回地方会、第59回大会のご案内をいたしました。昨年2月に始まった新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大はなかなか収束せず、2021年2月末の緊急事態宣言中では、感染がようやく減少に転じたかなという段階です。

インターネットを利用した学会、研究会、講習会が行われるようになってきました。ただ、中止、延期の会も多く、特に従来のハンズオンセミナーなどはまだ困難な状況です。例年4月に開催していました、超音波研修委員会セミナーは2021年4月分は中止となりました。

現時点で明らかになっている情報をこちらに掲載いたします。以後に明らかになった情報は随時、関東甲信越支部ホームページに掲載してまいります。診療中での感染対策はみなさん既に行っていただいています。消化器検診・診療に関して、当日本消化器がん検診学会から新型コロナウイルス（COVID-19）への対応について提言がホームページに掲載されています。日本消化器内視鏡学会や他学会からも提言が各学会ホームページに掲載されています。地域の実情、施設の状況も合わせ十分検討して、感染状況の中での最善の方法を選び、前にお進みください。検診は利益と不利益のバランスを十分考える必要があります。

新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。海外からの情報ではワクチン接種により、肺炎に罹患する率、死亡する率が減少する見込みと聞いています。がん検診よりも対象年齢が広くより多くの国民を対象とした事業です。消化器がん検診に携わる医療機関の多くの皆様が、ワクチン接種事業に関係していらっしゃるかと推測いたします。確実な先行きが見えない中で準備を進めていかざるを得ない状況には不安な気持ちも多いと思います。日本中、世界中の医療者が同じ気持ちだと思います。情報を共有して最善の道を探っていきましょう。

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター
山口 和也

編集委員会

編集委員長 山口 和也
編集委員 小田 丈二 岡田 義和 神宮寺 広明 山本 美穂
石井 崇雄 渡邊 綾子



(非売品)

消化管の診断に

処方薬医薬品
X線造影剤（硫酸バリウム製剤）

パウダー製剤

硫酸バリウム散 99.1%「共成」	バリトッフP
ネオバルギンEHD	バリトッフHD
ネオバルギンUHD	バリブライトP
ネオバルギンHD	バリブライトCL
	バリブライトLV
	バリコンクMX

ソル製剤

バムスターS200	バリトッフソル150
バリトッフ120	バリブライトソル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。
※注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元

KAIGEN カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号（資料請求先 商品企画部）
<http://www.kaigen-pharma.co.jp>

価値基準記載

健やかを、整えるから。

